



# い・Call

## 第64号

2015年(平成27年)8月

### い・callとは…

イコール(平等)を意味し、『い』には「意見・意志のある人達」が、『call』には「呼びかけ合い男女共同参画社会を作ろう」との思いが込められています。



## ●contents●

- 「理想の子ども数」を実現するために
- 「会社の様子どんなんけ？」～企業訪問その①～

発行 加賀市役所 地域づくり推進課  
男女共同参画係  
☎0761(72)7836

加賀市ホームページ(男女共同参画係)



石川県ホームページ(男女共同参画課)



# 「理想の子ども数」を実現するために

内閣府の調査によると、「子どもは〇人欲しい」という「理想の子ども数」を実現できている人は、全国平均で4割以下。子どもを授かることができる環境にあっても、実現できない原因とは何でしょうか…。

**25年後、人口は2/3以下に減少?!**

総務省の調査によると、日本の総人口は平成22年以降、毎年大きく減少しています。同じく加賀市の人口も、減少を続けています。

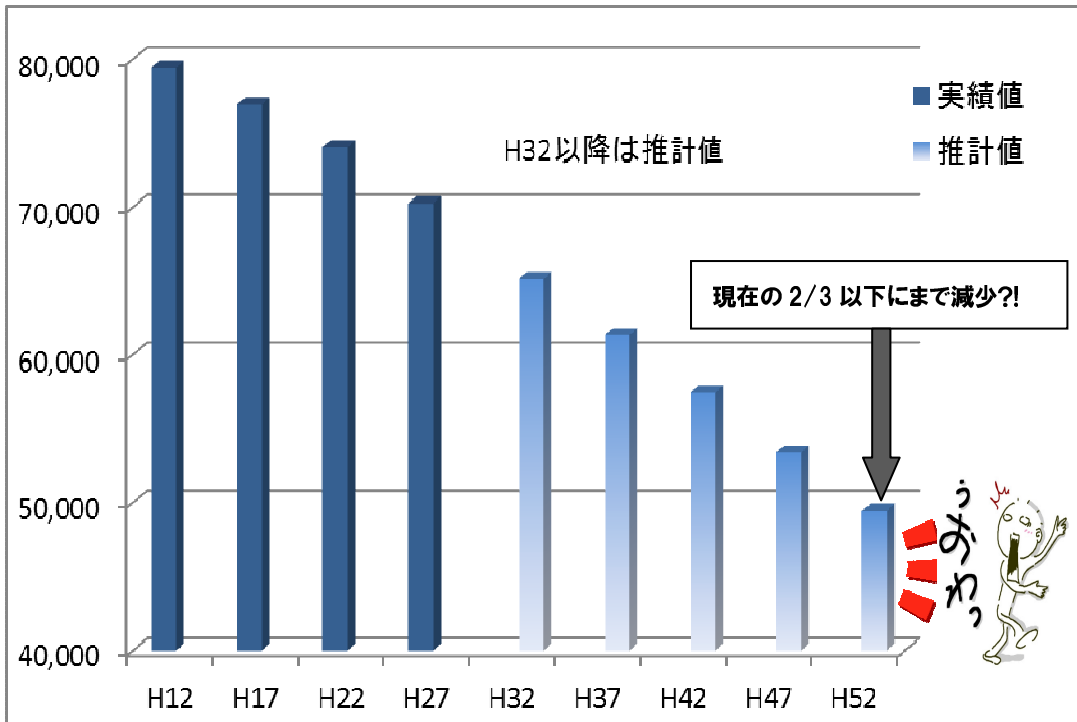
これに歯止めをかけようと、今年4月、市役所に人口減少対策室が新設されました。

国立社会保障・人口問題研究所が、「日本の地域別将来推計人口」で算出した加賀市の人口が、下のグラフです。

推計どおりなら、市民サービスの財源となる市の収入も大きく減少するでしょう。



**加賀市の人口と今後の推計**



## 国や地方自治体で結婚を支援

国では、結婚支援に本腰を入れ始めています。7月27日、内閣府主催で「結婚に関する全国連携会議」が開催され、全国の自治体の結婚支援担当者等が集まってグループワークや事例発表等が行われました。

市の人口減少対策室においても、出会いの場の創出を目的とした婚活支援を行っています。併せて、移住を促進して転入人口を増やすため、ホームページ等を活用した情報発信にも注力しています。

## 都会も田舎も少子化は止まらない

待機児童ゼロを目指して苦心している大都市に比べ、加賀市では、そのような問題はありませんし、子どもが育つ環境にも恵まれています。

なのに、1人の女性が生涯に産む子どもの平均数を示す合計特殊出生率は、1.47。全

国平均を上回っていますが、人口を維持するために必要とされる水準である2.07を下回っています。

今年度、内閣府が発表した男女共同参画白書には『地域の活力を高める女性の活躍』という特集があり、そこに興味深いデータがありました。

**出産を躊躇する原因は育児の手**

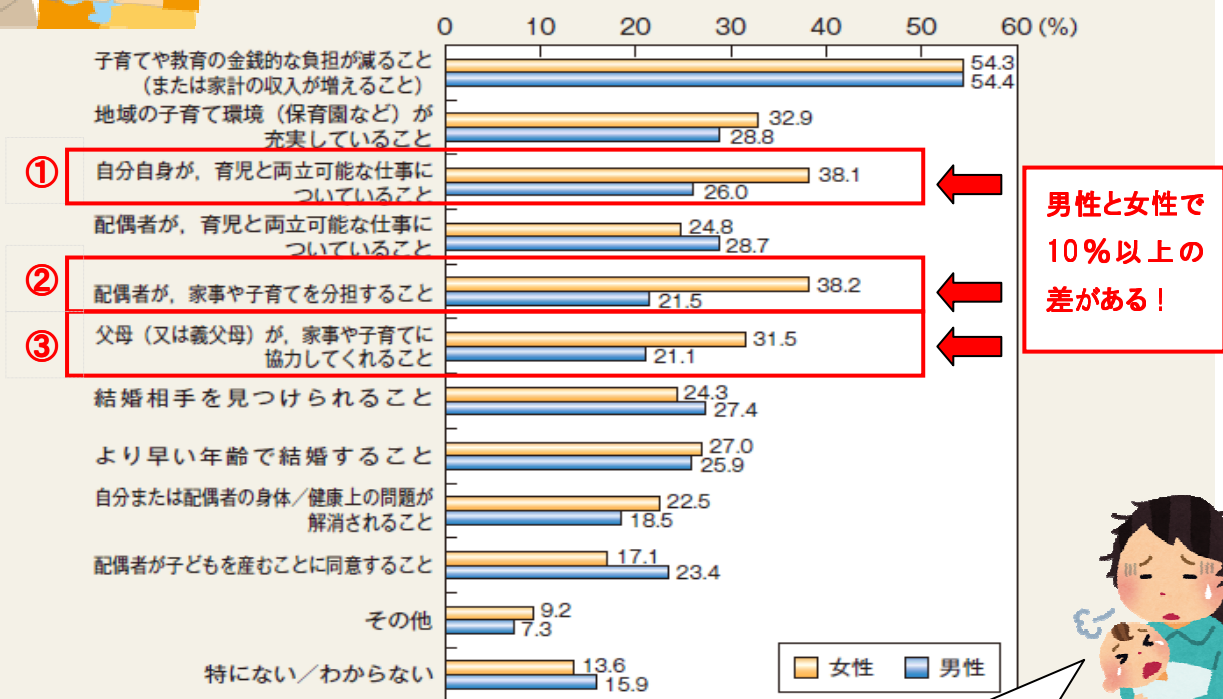
内閣府が全国の20〜69歳の男女を対象に行った「地域における女性の活躍に関する意識調査」（H27年）によると、理想の子ども数を「0人」と回答した人は全国平均で10%以下です。90%以上の人が1人以上の子どもをほしいと思っています。

その、「理想の子ども数は1人以上」とする人のうち、現実の子どもの数が、理想を下回る人の割合は、全国平均で60%以上にも上ります。

たくさんの手があると出産後も助かるわ。

「H27年度 男女共同参画白書(内閣府)」より抜粋

**理想子供数を実現するために必要なこと (男女別)**



男性と女性で10%以上の差がある！



夫が忙しいのは分かるけど、一人で育児はしんどいわ...

上の表は、「理想の子ども数を実現するために必要なことは何か」という問いに対する回答をまとめたものです。注目してほしいのは、①自身が育児と両立可能な仕事についていること、②配偶者が家事や子育てを分担すること、③父母などが家事や子育てに協力してくれること、の三つ。どれも男女で10ポイント以上の差があります。

出産・育児は、家族全体に負担がかかるとは言え、依然として女性の負担感が大きいことが、この結果から見取れます。

**「家事場のパパちから」が必要！**

出産は女性にしかできませんが、育児は違います。男性はぜひ育メンを目指してください。それが理想の子ども数を得る一番の妙薬となるようです。そして企業には、長時間労働の是正をお願いしたいものです。

# 会社の様子とどんなんけ？ ～企業訪問その①～

今号から「いしかわ男女共同参画推進宣言企業」に認定された事業所を、ご紹介していきます。

今回訪問したのは、JA加賀。お話を伺ったのは、総務人事課の田川直仁課長です。



課長がんばれー！

優しい目元が印象的な田川課長

する傾向が強いように感じます。

―国は「ワークライフバランス」の重要性を訴え、この夏、「ゆう活」を始めました。

私も共働きを少なくしようと呼び掛けていますが、残つてもやらないといけない場合もあります。管理職には、部下の残業が意味のある必要なものか否かを見極める力も求められます。

―部下に、「時間内に仕事を終わらせるぞ」という意気込みがある上での、上司判断になりますね。

そのために、職員の意識改革を目指しています。昨年、全職員を対象にグループワークを行いました。職員の等級（職階級）別に、講師のもと、二、三日間に渡りワークショップを中心とした研修をしました。

―その効果は出ていますか？

すぐ効果が出るとは思いますが、職員の意識に変化が芽生えてくれたらと期待しています。

また、今年度から新しい人事評価制度を導入しました。本人のやる気や目標の達成度、資格等を加味して評価します。その結果を賞与だけでなく、昇格や給与にも反映させていく予定です。

―職員に戸惑いはなかったですか。そのために、労務説明会を行いました。今後も、制度の定着と職員の意識改革に努めたいと思います。

お忙しい中、  
ありがとうございます  
ございました



JA 加賀イメージキャラクター

「カガッコリーちゃん」

## 編集後記

男性のみだった理事会に女性が加わり、母親や主婦としての役割目線での意見が出てくることは、男性にとっても新鮮かもしれません。職員の意識改革と併せ、組織に新しい風が吹き込むといいですね。

